

参考資料3

北区研修資料

令和3年度

北区自治協議会について

北区地域総務課

第8期 北区自治協議会委員名簿

R03.4.1～R05.3.31

(敬称略)

新任 13人 再任(通算) 17人

男性 18人 女性 12人

No.	氏名		所属団体等	選出区分	委員資格
1	神田 征男	再任	松浜地区コミュニティ協議会	第1号委員	地域コミュニティ協議会選出者
2	神田 恭之	再任	南浜地区コミュニティ協議会		地域コミュニティ協議会選出者
3	大島 一成	新任	濁川地区コミュニティ協議会		地域コミュニティ協議会選出者
4	小日向 克司	再任	葛塚中央コミュニティ協議会		地域コミュニティ協議会選出者
5	五十嵐 隆吉	再任	葛塚東コミュニティ協議会		地域コミュニティ協議会選出者
6	本間 藤雄	再任	太田ちいきコミュニティ協議会		地域コミュニティ協議会選出者
7	阿部 勝幸	再任	コミュニティ木崎村		地域コミュニティ協議会選出者
8	前田 義憲	新任	岡方地区コミュニティ委員会		地域コミュニティ協議会選出者
9	山賀 好郎	再任	長浦コミュニティ委員会		地域コミュニティ協議会選出者
10	清水 博恭	再任	早通地域コミュニティ協議会		地域コミュニティ協議会選出者
11	有田 一彦	新任	新潟市北地区スポーツ振興会	第2号委員	公共的団体等選出者
12	樺山 サト子	再任	北区民生委員・児童委員協議会		公共的団体等選出者
13	斉藤 保則	新任	新潟市北区社会福祉協議会		公共的団体等選出者
14	清水 文桜	新任	北新潟地域づくり学会		公共的団体等選出者
15	鶴巻 ヨシ子	再任	新潟市食生活改善推進委員協議会北支部		公共的団体等選出者
16	平松 賢一	再任	新潟市北地区老人クラブ連合会		公共的団体等選出者
17	藤沢 直子	再任	新潟医療福祉大学		公共的団体等選出者
18	藤原 愛	新任	新潟医療福祉大学		公共的団体等選出者
19	本間 啓幸	新任	支え合いのしくみづくり会議		公共的団体等選出者
20	皆川 英良	再任	協同組合北新潟商工振興会		公共的団体等選出者
21	柳 寿美子	新任	松浜地区青少年育成協議会		公共的団体等選出者
22	山田 誠徳	新任	にいがた北青年会議所		公共的団体等選出者
23	横山 由美	新任	豊栄商工会		公共的団体等選出者
24	渡邊 万理子	再任	新潟市北区スポーツ協会		公共的団体等選出者
25	本田 正美	再任	新潟市農業協同組合	第3号委員	区長が必要と認めた者
26	伊藤 裕美子	新任	人権擁護委員		識者
27	遠藤 由美	新任	元亀田中学校長		識者
28	中嶋 涼子	再任	木崎中学校地域教育コーディネーター		識者
29	佐久間 沙都美	再任	公募委員		公募による者
30	皆川 靖博	新任	公募委員		公募による者

1号委員はコミ協地区コード順、2号・3号委員は、委員資格ごとの50音順

令和3年度 北区自治協議会 開催日程予定

	開 催 日	時 間	場 所	備 考
第1回	2021年4月22日（木）	13:30～	豊栄地区公民館 大講堂	
第2回	5月27日（木）	13:30～	北地区コミュニティセンター	
第3回	6月24日（木）	13:30～	北地区コミュニティセンター	
第4回	7月29日（木）	13:30～	豊栄地区公民館 大講堂	
第5回	8月26日（木）	13:30～	豊栄地区公民館 大講堂	
第6回	9月30日（木）	13:30～	北地区コミュニティセンター	
第7回	10月28日（木）	13:30～	北地区コミュニティセンター	
第8回	11月25日（木）	13:30～	豊栄地区公民館 大講堂	
第9回	12月23日（木）	13:30～	豊栄地区公民館 大講堂	
第10回	2022年1月27日（木）	13:30～	北地区コミュニティセンター	
第11回	2月24日（木）	13:30～	北地区コミュニティセンター	
第12回	3月24日（木）	15:00～	豊栄地区公民館 大講堂	

令和2年度 北区自治協議会の議題について

開催日	議題の種類	全体会	開催日	議題の種類	全体会	
第1回 (書面開催)	議事	令和元年度北区自治協議会提案事業の事業評価	第8回 (11月26日)	報告	第1回推薦会議	
	報告	北区役所新庁舎整備事業 令和2年度 区教育ミーティングの実施			令和3年度北区「特色ある区づくり予算事業」の提案状況(経過報告)	
第2回 (書面開催)	報告	北区区ビジョンまちづくり計画第3次実施計画の進捗状況 第1回北区自治協議会書面開催結果			第9回 (12月24日)	報告
第3回 (6月25日)	報告	区組織目標の令和元年度取組結果及び令和2年度目標設定 北区特色ある区づくり予算事業	議事	令和3年度北区「特色ある区づくり予算事業(案)」の提案		
第4回 (7月30日)	報告	「北区フレイル予防事業」の実施	第10回 (1月28日)	報告		
		「新潟市の総合的な汚水処理の推進」			新潟市都市計画マスタープランの改定について	
		令和3年度特色ある区づくり事業(委員提案分)			区自治協議会会長会議の報告	
		福島潟河川改修事業			大雪に関する除雪対応等	
第5回 (8月27日)	議事	新潟市国民保護協議会委員の改選	第11回 (2月25日)	報告	大雪時の1人暮らし高齢者等生活相談窓口の開設	
		令和3年度特色ある区づくり予算事業			令和2年 火災の発生状況と出火防止	
	報告	集団資源回収にかかる回収用具譲与の終了 新潟市都市計画マスタープランの改定			阿賀北広域組合の解散	
第6回 (9月24日)	報告	市ファミリーサポートセンター	第12回 (3月17日)	市長との懇談会	新潟市都市計画マスタープランの改定	
第7回 (10月22日)	報告	令和元年度北区「特色ある区づくり予算事業」実績			議事	第8期北区自治協議会委員の推薦
		令和3年度北区「特色ある区づくり予算事業」の提案状況				第7期北区自治協議会提案事業 事業評価書(案)
		コロナ禍における北区自治協議会の課題	報告	北区自治協議会第7期を振り返って		

部会(主なもの)	<地域づくり部会> ・北区交通マップ作成	<福祉教育部会> 福祉教育部会だより発行	<自然文化部会> ・福島潟賑わい創出事業	<全部会> ・区づくり予算事業について
----------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------

北区自治協議会（第7期）を振り返って

北区自治協議会会長 松田 正實

1 はじめに

令和元年度からの第7期区自治協議会は、委員30名中、新メンバーを21名加えてのスタートとなりました。毎月一回住みよい北区のまちづくりに向けて話し合い、地域課題の解決に取り組んできました。

全体会では主に区役所から提案される事業内容に対して協議を行い、部会では地域の身近な課題を話し合っ事業を行ってきました。

昨年度の区自治協議会提案事業では、独り暮らしの高齢者や子どもたちの見守りをテーマにしたフォーラムの開催、乳幼児を育てる環境の改善に向けた冊子づくり、北区内の小学6年生を対象とした国際的なヴァイオリン奏者のコンサートの実施などを行って好評でした。

今年度は新型コロナウイルス感染症の発生により、感染防止対策として、会議は書面開催、区自治協議会提案事業は内容を変更しての実施を余儀なくされました。

コロナ禍において区自治協議会はどうあるべきか、次の第8期北区自治協議会に引き継いでいただくため、第7期の詳細な活動成果や課題などについて報告いたします。

2 取組内容・成果・課題

(1) 全体会について

ア 会議運営（新型コロナウイルス感染症対策）

新しい生活様式に基づく運営ガイドラインを令和2年6月1日に決めました。これに基づき、委員同士の間隔が2m開けられるよう、座席を変更し、マスク着用を原則としました。

間隔を離れたことにより、発言しにくくなったとの意見が多くあり、全員参加の会議とするために、テーマによってはグループ協議を取り入れるなど工夫が必要と思われます。

イ 北区自治協議会委員研修会の実施

令和元年度は、「特色ある区づくり予算事業」に関連する施設を視察しました。現場で地域の人々の思いを聞き、理解することができました。バスでの移動は、委員同士のコミュニケーションの機会ともなりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で従来の視察は難しかったため、座学での研修としました。北区で活躍する山口正康医師を講師に「新型コロナから学ぶこと」と題し、現状と地域でできる取組みなどについて話していただきました。

医療関係者からの具体的な話を聞き、今後の地域での活動に生かせる知見を得ることができました。

(2) 部会・提案事業について

ア 総務部会

総務部会は、区自治協議会全体の運営、協議内容の検討、区自治協議会だよりの編集を所管する部会です。

全体会の内容を事前に確認し、より活発な区自治協議会とするにはどの様にすべきか検討を行いました。また、区自治協議会をより多くの方に知っていただけるよう広報紙の編集を行いました。

令和2年度の市政世論調査の結果において、「区自治協議会の名前も活動内容も知っている」と答えた北区民は26.2%（市全体は17.4%）となっており、活動内容まで含めた認知度は、8区中一番高くなっています。一方で、「知らない」と答えた区民は40.4%（市全体は52.8%）となっており、引き続き区自治協議会の活動を広報していくことが必要です。

イ 地域づくり部会

地域づくり部会は、賑わいづくり、公共交通、地域産業、人口減少、空家活用、防災分野を所管する部会です。

令和元年度は、区内の見守り活動を行っている団体の情報交換の場として「北区みんなで見守り隊」と題したフォーラムを開催しました。

令和2年度は、高齢者の外出を促し、健康寿命の延伸を図るため、区内の多様な生活交通網を集約したマップを作成しました。

ウ 福祉教育部会

福祉教育部会は、子育て、教育、医療・保健、福祉分野を所管する部会です。

令和元年度は、新潟医療福祉大学の学生による家庭介護セミナーを開催し、学生と地域の交流によりつながりが深まり、支え合いの機運を高めることができました。また、乳幼児の育成環境改善のため、子育てに大切なことをまとめた「ママ・パパ応援パンフレット」を作成しました。

令和2年度は、この第2弾として、思春期の子育ての参考となるよう、小学校高学年から中学生の保護者向けのパンフレットを作成しました。

エ 自然文化部会

自然文化部会は、文化・スポーツ、環境、空家対策分野を所管する部会です。

令和元年度は、区内の小学校6年生を対象に、音楽を身近に楽しむ機会を設け、感性を育むため、ヴァイオリンコンサートを開催しました。また、福島潟のラムサール条約登録に向けて、パンフレットの配布やパネル展示を行いました。

令和2年度は、豊栄高等学校の協力で、福島潟の魅力を発信する動画を制作、配信しました。

※提案事業の具体的な成果・課題等については、添付の事業評価書を参照ください。

3 おわりに

第7期を振り返り、委員から全体会については、行政の事業内容や各団体の状況を詳しく知ることができ、大変勉強になった、自治会活動の役に立ったとの声がある一方、報告事項が多く、人数も多いため意見が出しにくい、全員が議論に参加するための工夫はできないかなどの課題が挙げられました。

また、部会については、一つのを皆で作り上げていく大変さと楽しさを改めて感じた、委員が主体となり成果が大きかったとの声があり、さらに委員が主体となり、多様なニーズに対応できる取組みが必要であるとの課題が挙げられました。

また、コロナ禍において人との関わりが分断され、交流が否定されていると感じる今、人と人をつなげ、みんなが元気になれるような事業に取り組みたいとの意見が寄せられました。

第8期では、このような点を踏まえつつ、協働の要としてさらなる活動の活性化が図られることを期待します。

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	北区みんなで見守り隊 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	北区では、地域の方々を中心として、登下校中の子どもたちや支援が必要な高齢者等、様々な見守り活動が積極的に行われている。 見守りを行う各団体では、独自のノウハウや実践的なアイデアを持っており、見守りの対象が異なる活動でも互いにヒントになるものがあると思われる。そこで、「見守り」をキーワードに共通項を見出す機会として、フォーラムを開催し、見守り活動を行っている多数の人・団体の情報共有を図る。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	北区みんなで見守り隊フォーラム ■日時 11月27日 13:00～15:50 ■会場 新潟市北区文化会館ホール ■参加 185人 ■内容 第1部 基調講演 ①三流亭楽々さん ②中野妙さん 第2部 事例発表 ①葛塚わんわんパトロール隊 ②北区民生委員・児童委員協議会 ③ナミックス株式会社・株式会社竹中工務店 第3部 意見交換 パネルディスカッション(「みんなで支え合う地域づくり」について) また、当日会場集めた意見(付箋300枚以上)を分類及びキーワード化し、活動の評価と課題を洗い出し記録集を作成。今後の方向性をスローガン化した。
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の詳細など</small>	■北区の「見守り」の特長として、地域や企業はじめ多様な団体それぞれが自主的に活動を展開しているところに着目した。一方で、団体間の「ヨコ」のつながりが希薄になっている点が地域課題になっているものと考え、事業に取り組んだ。 ■参加者を限定しないフォーラム形式で事業を開催し、多様な団体等に参加してもらえた。幅広い層にアプローチできた点で、事業の公益性が認められる。 ■当日集まった意見(付箋)をもとに、地域づくり部会で振り返りを実施し、当事業の総括と今後の方向性をスローガン化した記録集(ヒント集)を作成した。地域のなかで容易に共有また還元できる成果品となった点で、一定程度の効率性が確保できた。 ■さらに、フォーラムでは「地域の食の見守り隊」として、食生活推進委員協議会北支部がバッククッキングのPRと蒸しパン試食会を開催した。「食」から見守りを捉える、新たな視点を提起する機会となった。 ■アンケート結果から高い満足度と積極的な意見を得られた。区全体として見守り活動が広がる機運を期待する成果として、実効性が高いものと思われる。 アンケート結果(回収122人・回収率65.9%) □参考度(「大変参考になった」、「まあまあ参考になった」を合わせて) 基調講演:96%/事例発表:86%/パネルディスカッション:66% □主な感想 (評価)新しいアイデアに触れる機会になった/他地域の取組を知り心強い/自分の団体でもやってみたい/地域に感謝の思いが芽生えた 等 (課題)若い世代の参加が少ない/担い手が足りない現状がある/見守り活動が行われていることを知る機会が少ない/地域の見守りへの関心をどう維持していくか 等
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	生きる力・支えあう子育て事業 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	①全てのママ・パパ応援プロジェクト 乳幼児の育成環境を改善のため、子育てに大事なことをまとめたテキストを作成、配布し、区内全ての乳幼児の保護者が学ぶ機会を設ける。 ②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業 新潟医療福祉大学学生が家庭介護セミナーを開催。学生と地域の繋がりを深めながら、支え合いの機運を高め、地域の活性化へと結びつける。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	①全てのママ・パパ応援プロジェクト ・発行形態 A5判 16頁 中綴じ製本 フルカラー(4色刷り) ・内容 「ママとパパへ」と「ママとパパを応援する全ての人へ」の2部構成とした。どちらもマンガから始まり、手に取りやすく、読まれやすい作りとした。「ママとパパへ」では、ほめることの効果、話しの聞き方など子育ての際に大事なことをまとめた。「ママとパパを応援する全ての人へ」では、ママとパパが悲しくなること、嬉しくなることなどを具体的に列記した。 ・こんにちは赤ちゃん訪問事業での配付の際は、ケース付き ・作成部数 10,000部 同事業での配付のほか、区内保育園・こども園・幼稚園などを通じて配付 子育て支援センター、児童館、児童センター、図書館などの各公共施設に設置 ・アンケート回収(帯で案内し、ネット回答) ②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業 ・新潟医療福祉大学学生による家庭介護セミナー開催(全回同一内容) 1. 9/21(土)豊栄健康センター 参加者 10人 2. 10/12(土)北地区コミュニティセンター 参加者 6人(台風19号の影響で人数減) 3. 11/16(土)長浦コミュニティセンター 参加者 14人 ・学生たちが講師となり、衣服の着替えのお手伝いの実習のほか、レクリエーション、茶話会など交流を行った。 ・小林委員が日頃の学習知識を活かし、講師として活躍。
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価 など)</small>	①全てのママ・パパ応援プロジェクト ・アンケートの結果 この冊子が子育てに役立つと思うかの問いに、大いに思う、思うが合わせて92% 【ご意見・感想より】 まさに悩んでいることが書いてあった。／一人で悩まなくてもいい、「みんなで育児」が心に響いた。／気持ちが楽になった。／漫画により興味が持てた。／家族全員向けがいい。／妻の気持ちが分かった気がする。／お母さんだって休んで良いと言われた気がした。／コンパクトに大切なことがまとまっている。／祖父母に読んでもらいたい。／困ったら相談しようと思った。／など ・木崎小学校から先生たちに役立つと、職員用としての送付要望があった。 ・民間事業者から子育て中の社員向け冊子に一部転載させてほしいとの要望があった。 ・保護者へ家庭教育の大切さを伝えるだけではなく、北区に子育て応援の輪を広げるといふ目的は達せられたと思われる。 ②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業 ・新潟医療福祉大学で学ぶ学生が、自ら学習した知識や技能を活かし、家庭介護セミナーを開催。学生は発表の場を持ち、参加者は家庭でできる介護の技術を知ることができた。 ・茶話会の中で、学生は直接参加者の感想を聞くことができた。 ・学生と地域の繋がりが深まり、支え合いの機運を高めることができた。 ・令和2年度以降、特色ある区づくり事業(区企画事業)で継続することとなった。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区分	内容																								
テーマ・事業名	潤いの福島潟創出事業 【事業費予算 1,000千円】																								
事業目的・概要	北区の潟の魅力を広く発信し区民の理解を深めるとともに、福島潟のラムサール条約登録推進に向け、広く周知を図る。																								
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>① 「潟ツーリズム研修会」への参加 <第1回> 日にち 7月17日(水) 場所 水の駅「ビュー福島潟」 テーマ ラムサール条約を活用した持続可能な地域づくりについて <第2回> 日にち 2月13日(木) 場所 阿賀野市コミュニティセンター 瓢湖憩の家 テーマ エコツーリズムの手法を用いたまちづくりについて</p> <p>② 啓発パネル巡回展示、パンフレット配布</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月1日～6月28日</td> <td>ビュー福島潟 6階展望ホール</td> <td>菜の花時期、GW</td> </tr> <tr> <td>6月29日～7月10日</td> <td>北区文化会館 ロビー</td> <td>7/1 自治協研修会</td> </tr> <tr> <td>7月10日～11月6日</td> <td>ビュー福島潟 6階展望ホール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9月23日</td> <td>ビュー福島潟 6階展望ホール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月7日～12月26日</td> <td>葛塚コミセン 1階ロビー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1月1日</td> <td>豊栄南運動公園屋内GB場</td> <td>北区元旦歩こう会(参加者数〇人)</td> </tr> <tr> <td>1月10日～3月末</td> <td>木崎コミセン ロビー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※各施設 平均来館者数 ・ビュー福島潟 1,896人/月(有料エリア) ・北区文化会館ロビー 2,535人/月(6～7月) ・葛塚コミセン 2,943人/月 ・木崎コミセン 1,036人/月</p> <p>③ 第12回北区ふゆっこまつりでのPRブース出展 (中止) 日時 2月23日(日) 場所 新潟医療福祉大学 内容 啓発パネルの展示、パンフレットの配布、啓発缶バッジ作成体験コーナー</p>	期間	場所	備考	4月1日～6月28日	ビュー福島潟 6階展望ホール	菜の花時期、GW	6月29日～7月10日	北区文化会館 ロビー	7/1 自治協研修会	7月10日～11月6日	ビュー福島潟 6階展望ホール		9月23日	ビュー福島潟 6階展望ホール		11月7日～12月26日	葛塚コミセン 1階ロビー		1月1日	豊栄南運動公園屋内GB場	北区元旦歩こう会(参加者数〇人)	1月10日～3月末	木崎コミセン ロビー	
期間	場所	備考																							
4月1日～6月28日	ビュー福島潟 6階展望ホール	菜の花時期、GW																							
6月29日～7月10日	北区文化会館 ロビー	7/1 自治協研修会																							
7月10日～11月6日	ビュー福島潟 6階展望ホール																								
9月23日	ビュー福島潟 6階展望ホール																								
11月7日～12月26日	葛塚コミセン 1階ロビー																								
1月1日	豊栄南運動公園屋内GB場	北区元旦歩こう会(参加者数〇人)																							
1月10日～3月末	木崎コミセン ロビー																								
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価 など)	<p>① 「潟ツーリズム研修会」への参加 ラムサール条約湿地の「瓢湖」及び環境省選定ラムサール条約湿地潜在候補地の「福島潟」を観光資源として有効活用を図り、交流人口の拡大を目指す「潟ツーリズム」について情報共有することで、ラムサール条約についての理解を深めることができた。</p> <p>② 啓発パネル巡回展示、パンフレット配布 平成30年度に作製した、ラムサール条約登録啓発パネル及びパンフレットを区内のコミュニティセンターや、人が多く集まるイベント等で展示・配布することで、普段は潟に触れる機会の少ない方にもラムサール条約について知ってもらう機会となった。</p> <p>③ 北区ふゆっこまつりでのPRブース出展 (中止) 子どもにとって親しみやすい缶バッジ作成体験ブースとすることで、親子連れなど、普段はラムサール条約に関心を持ってもらうことが難しい年代にも、ラムサール条約について考えてもらう機会となるよう工夫した。</p>																								
備考																									

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	子どもと音楽の出会い創出事業 【事業費予算 2,000千円】
事業目的・概要	区内小学生を招待し、音響の優れた北区文化会館ホールにてプロの演奏家によるコンサートを開催することで、質の高い音楽との出会いの場を提供し、次世代を担う子どもたちの感性を育み人材育成を図る。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	「コンサートホールによろこそ」 日 時 9月11日(水) 午前の部:10時開演、午後の部:14時開演 場 所 北区文化会館 ホール 参加者 区内小学6年生全員 延べ694人(教員、自治協議会委員含む) ※午前と午後の部に分け、無料招待 出演者 大谷康子さん(ヴァイオリン)、小山さゆりさん(ピアノ)
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価 など)</small>	<p><アンケート結果> 回答数 677人(回答率:97.6%) ○回答者の75.6%が「今回のようなコンサートがあったら、また聴きたい」と回答。 ○主な感想 「初めて生でヴァイオリンを聴いた。すごく楽しかった。」 「普段、音楽を聴く機会が少ないので、こういう体験ができて嬉しかった。」 「他の学校の人と友達になれて楽しかった。」 「プロの演奏を聴いたのは初めてだったので、いい体験になった。」等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区文化会館と連携し、音響の優れた同館ホールでプロの演奏家によるコンサートを開催することで、子供たちが質の高い音楽に触れ、体感できる機会を提供できた。 ・親しみのある曲を演奏したり、みんなでピリブを合唱したりなど、音楽を身近なものとして感じ、最後まで飽きずに楽しむことのできるコンサートとなった。 ・児童一人ひとりにチケットを渡し、入場の際にはもぎりをを行い、チケットに印字の席を自分で探すなど、実際のコンサートに近い環境を体験してもらうことができた。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	北区交通マップ作成 【事業費予算 800千円】
事業目的・概要	区内には多様な交通網が整備されており、さらなる利用促進のためには、それらの幅広い活用が求められる。区内の公共交通に関する情報を集約し「見える化」することで、区民それぞれが自分の移動需要に適した公共交通の活用を知る契機とするとともに、公共交通のさらなる利用促進を図る。さらに、高齢者の外出を促し、健康寿命の延伸につなげる。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数 など)	<p>【北区交通マップ】 部数 28,000部 配布方法 区内全戸配布、市ホームページに掲載 区内の主な公共施設・病院・スーパーなどに設置 掲載内容 〈表面〉各路線図 〈裏面〉各交通機関の詳細、高齢者向け 情報など</p> <p>【区バス・おらってのバス乗り案内チラシ】 部数 区バス:5,500部、おらってのバス:7,300部 配布方法 各沿線自治会に全戸配布、区内の主な公共施設に設置 掲載内容 乗り方を4ステップで紹介</p>

区 分	内 容
<p>事業の評価</p> <p>（地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性・ 効率性の評価など）</p>	<p>区民に区内の公共交通を分かりやすくお知らせするため、以下2事業の作成・発行を検討し、実施した。特に、今まで公共交通を利用したことがない区民や、そもそも区内にどんな公共交通が存在するのかを知らない区民が一定数いることを念頭に置き、検討を重ねた。</p> <p>【北区交通マップ】 ○文字の大きさや配色、紙面のサイズなど、誰にでも親しみやすく分かりやすい紙面となるよう工夫した。 ○公共交通を利用したことのない区民に、まずは区内にはどんな交通があるかを知ってもらうため、表面のマップ内に区内の公共交通を集約した。また、集約することで自分の移動需要に適した公共交通の活用を検討でき、公共交通の利用促進及び高齢者のおでかけ促進となるよう作成した。 ○公共交通のメリットを紹介することで、利用のきっかけとなるよう工夫した。 ○公共交通の主な利用者は交通手段を持たない高齢者であるため、高齢者を対象にした割引制度や運転に不安を感じている高齢者やその家族が相談できる安全運転ダイアルなど、高齢者向けのお役立ち情報を掲載した。 ○区内全戸配布やホームページへの掲載、区内の主な公共施設へ設置することで、区民が区内の公共交通の現状を理解することにも寄与できると考えられる。</p> <p>【区バス・おらっのバス乗り案内チラシ】 ○写真を大きく使用し、4ステップで分かりやすく紹介することで、今まで利用したことがない人の利用のきっかけとなるよう工夫し作成した。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	福祉教育部会部会だより発行 【事業費予算 700千円】
事業目的・概要	主に小学校高学年から中学生の保護者を対象としたパンフレットを発行し、子育てについての大切なことについて学ぶ機会を設ける。 また、小学校高学年から中学生の本人、子育てを応援したい人向けのページも設け、子どもたちの育成環境を改善と、子育て応援の機運醸成を図る。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>みんなの応援パンフレット フレフレ！思春期～心の成長期～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 心と体が大きく変化する思春期を迎えた子どもの成長に戸惑ったときの手助けとなる様、大事なことや相談窓口を紹介 ・対象 小学校高学年から中学生の保護者、小学校高学年から中学生の本人 子育てを応援したい全ての人 ・発行形態 A5判 16頁 中綴じ製本 フルカラー(4色刷り) ・作成部数 10,000部 ・配布先 区内の小学校、中学校を通じて保護者へ配布 放課後児童クラブ、コミュニティセンター、図書館、公民館などの各公共施設に設置 北区教育ミーティング資料(1/28) ・アンケート回収(表紙に案内付箋を貼付、ネット回答) 3/1現在 135件

区 分	内 容
<p>事業の評価</p> <p>（地域課題の抽出方法や 事業の公益性・実効 など）</p>	<p>○アンケートの結果 アンケートの結果からみて、ほぼ目的を達成することができたと評価したい。</p> <p>この冊子があなたの役に立ちましたか？の問いに 大いに役に立つ 49.6%、まあまあ役に立つ 50.4%</p> <p>【ご意見・感想より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者 <ul style="list-style-type: none"> 思春期の子どもに対する接し方を改めて考えることができた。 子育てに大切な情報が書かれていると思った。 困った人の安心材料になると思った。 差別が起きないように子どもに教えておく必要があると感じた。 漫画で読みやすかった。分かりやすかった。 思春期の難しい年ごろの子がいるので役に立ちました。 自治協議会の活動が生活に密着していることに感謝します。 前回も読みました。学校配布は気軽に読めるのでありがたい。 子どもは親の鏡というのが響いた。 自己肯定感が育まれる環境づくりを心がけようと思う。 ・小学生、中学生 <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の状態が理解できた。 子どもは親の鏡というところが面白かった。 家族みんなで読みました。 LGBTQについて詳しく分かりやすく説明していて嬉しかった。 <p>○保護者へ家庭教育の大切さを伝えるだけでなく、小学校高学年から中学生の本人、子育てを応援したい人へも届けることで、子どもたちの育成環境の改善と、北区に子育て応援の輪を広げるといった目的は達せられたと思われる。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区分	内容																								
テーマ・事業名	福島潟賑わい創出事業 【事業費予算 1,500千円】																								
事業目的・概要	福島潟のラムサール条約登録に向け、条約の理念等を広く周知し、区民の理解を深めつつ、気運の醸成を図る。福島潟の魅力を区内外に広くPRすることで、賑わいの創出を図る。																								
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数 など)	① ラムサール条約登録に向けた研修会及び意見交換会 【研修会】 日にち 令和2年6月25日(木) 場 所 北地区コミュニティセンター 内 容 ラムサール条約湿地自治体認証制度とSDGsについて 【意見交換会】 日にち 令和3年2月25日(木) 場 所 北地区コミュニティセンター 内 容 現在の進捗状況報告及び意見交換																								
	② 啓発パネル巡回展示、パンフレット配布																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月1日～7月29日</td> <td>ビュー福島潟 6階展望ホール</td> <td>菜の花時期、GW</td> </tr> <tr> <td>7月30日～9月30日</td> <td>岡方コミセン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10月1日～12月25日</td> <td>長浦コミセン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月3日</td> <td>水の公園福島潟</td> <td>福島潟マルシェでのブース出展</td> </tr> <tr> <td>12月26日～1月15日</td> <td>豊栄総合体育館</td> <td>北区ふゆっこまつり</td> </tr> <tr> <td>1月16日～1月28日</td> <td>北地区スポーツセンター</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>2月1日～3月19日</td> <td>北区役所新庁舎 1階交流スペース</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	期間	場所	備考	4月1日～7月29日	ビュー福島潟 6階展望ホール	菜の花時期、GW	7月30日～9月30日	岡方コミセン		10月1日～12月25日	長浦コミセン		11月3日	水の公園福島潟	福島潟マルシェでのブース出展	12月26日～1月15日	豊栄総合体育館	北区ふゆっこまつり	1月16日～1月28日	北地区スポーツセンター	〃	2月1日～3月19日	北区役所新庁舎 1階交流スペース	〃
	期間	場所	備考																						
	4月1日～7月29日	ビュー福島潟 6階展望ホール	菜の花時期、GW																						
	7月30日～9月30日	岡方コミセン																							
	10月1日～12月25日	長浦コミセン																							
	11月3日	水の公園福島潟	福島潟マルシェでのブース出展																						
	12月26日～1月15日	豊栄総合体育館	北区ふゆっこまつり																						
	1月16日～1月28日	北地区スポーツセンター	〃																						
2月1日～3月19日	北区役所新庁舎 1階交流スペース	〃																							
※各施設 平均来館者数 ・ビュー福島潟(有料ゾーン)742人/月 ・岡方コミセン312人/月 ・長浦コミセン1,237人/月 ・福島潟マルシェ1,100人																									
③ 福島潟の魅力PR動画を制作(豊栄高等学校の生徒との協働制作) 企画会議 8月27日(木) 撮影期間 9～11月 コンセプト 訪れたくなる福島潟 公開方法 YouTube内「新潟シティチャンネル」																									
④ 福島潟マスコットキャラクター「クイクイ」(2体目)の製作とPR クイクイ(2体目)の納品日 11月27日(金)																									
活用実績																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月3日～1月27日</td> <td>ビュー福島潟</td> <td>クリスマス展示に合わせて展示</td> </tr> <tr> <td>1月1日</td> <td>ビュー福島潟</td> <td>元旦歩こう会で展示</td> </tr> <tr> <td>2月1日～3月19日</td> <td>北区役所新庁舎</td> <td>開庁式、ふゆっこまつりに合わせて</td> </tr> </tbody> </table>	期間	場所	備考	12月3日～1月27日	ビュー福島潟	クリスマス展示に合わせて展示	1月1日	ビュー福島潟	元旦歩こう会で展示	2月1日～3月19日	北区役所新庁舎	開庁式、ふゆっこまつりに合わせて													
期間	場所	備考																							
12月3日～1月27日	ビュー福島潟	クリスマス展示に合わせて展示																							
1月1日	ビュー福島潟	元旦歩こう会で展示																							
2月1日～3月19日	北区役所新庁舎	開庁式、ふゆっこまつりに合わせて																							

区 分	内 容
<p>事業の評価 地域課題の抽出方法や企 画立案の評価 事業の公益性・実効性・効 率性の評価 など</p>	<p>① ラムサール条約登録に向けた研修会及び意見交換会 【研修会】 ラムサール条約の意義や湿地保全とSDGs(持続可能な開発目標)の関係性などを学んだ。福島潟のラムサール条約湿地登録に向けた取り組みは、市が推進しているSDGsにおける自然との共生の考え方と合致しており、福島潟の多面的な機能の魅力を多くの人と共有することの重要性を再確認した。</p> <p>【意見交換会】 ラムサール条約登録に向けたこれまでの取り組みを確認した。また、新潟市では国内初の「ラムサール条約の湿地自治体認証」の取得を通して、ラムサール条約の認知度向上・機運醸成を図っていくとの考えであった(同認証は令和3年11月に中国で開催される締約国会議で審議)。自然文化部会においても、ラムサール条約の認知度向上・機運醸成を継続的に図っていくことの重要性を再確認した。</p> <p>② 啓発パネル巡回展示、パンフレット配布 平成30年度に作製した、ラムサール条約登録啓発パネル及びパンフレットを区内のコミュニティセンターや、人が多く集まるイベント等で展示・配布することで、普段は潟に触れる機会の少ない方にもラムサール条約について知ってもらう機会となった。</p> <p>③ 福島潟の魅力PR動画を制作 高校生が撮影・編集・楽曲演奏などを担当し、若い世代の視点で福島潟をPRすることができた。動画はYouTube内の「新潟シティチャンネル」で公開し、福島潟の魅力を区内外に広く広報することができた。また、取り組みが新潟日報(9月25日朝刊)と市報にいがた特集(11月1日号)で取り上げられ、県内・市内の多くの人に興味を持ってもらうきっかけとなった。</p> <p>④ 福島潟マスコットキャラクター「クイクイ」(2体目)の製作とPR 中に人が入らず自立式で使用できる仕様とし、活用の幅を広げることができた。ビュー福島潟や元旦歩こう会の受付会場、北区役所新庁舎での展示においては、クイクイ及び福島潟の認知度向上に寄与することができた。</p>
備考	